

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	島野 寛喜
(※)第2期実施計画の事業名	環境基本計画推進事業	財務会計上の事業名	環境基本計画推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3041 1	財務会計上の短縮番号	3535
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目1地球環境施策の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	平成22年度に策定した「池田市新環境基本計画」を市民、事業者、行政等との協働により推進する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法 (どのように)	・各種主体との共同事業の実施、しくみ作り ・計画の進捗にかかる調査(環境審議会) ・市地球温暖化防止実行計画の策定、実施 ・計画の進捗状況の調査及び推進方法の検討 など
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	環境基本法第36条、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条

2 事業費等

区 分		28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29
事業費(千円)		1,062	1,060	1,046	1,139	98.7%
主な内訳	消耗品費	21	20	19	20	95.0%
	印刷製本費	308	308	308	300	100.0%
	調査委託費	713	713	713	792	100.0%
人件費(人・千円)		0.94 6,842	0.26 1,976	0.40 3,120	0.40 3,120	153.8%
内訳	正職員	0.92 6,808	0.26 1,976	0.40 3,120	0.40 3,120	153.8%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
	臨時的任用職員	0.02 34	0	0	0	-
支出合計 A		7,904	3,036	4,166	4,259	137.2%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他(廃油引取料)				52	-
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	7,904	3,036	4,166	4,207	137.2%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	98.8%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	新環境基本計画の進捗状況等に関する調査事業は既に外部業者に委託し、効率化を図っている。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	次期計画策定(令和2年度)の際には、策定業務について外部業者への委託を予定している。
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	専門知識を要する環境基本計画の策定業務等については、一部をアウトソーシングすることで計画の質の向上と事務の簡略化を図ることができると考えられる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市内の温室効果ガス排出量の削減量	%	12	算定中	算定中	—	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市内のごみ排出量の削減	%	8	9	算定中	—	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				市内ごみ排出量については削減率が上がっているものの、温室効果ガスの削減量が不明であるため(国発表の数値を用いて算定予定)。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)			
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない)	<input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)			
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		温室効果ガス及びごみの排出量削減については、社会情勢の変化に沿った事業を実施し、市民一人ひとりの意識の向上を図ることで、より効果的な施策の推進が可能であるため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 27 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	池田市新環境基本計画の中間見直しを行った。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	中間見直しや計画の進捗状況を踏まえ、目標達成に向けて施策を推進していく。	
現在抱える課題と対策	課 題	目標達成に向けた施策の推進のためには、部局間を超えた連携が重要だが、目的や必要性について十分に理解や共有がされていない。
	対 策	連携する必要がある部局に対し、施策に関する説明を行い、情報共有や協力を促す。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	本事業は、総合計画の「環境にやさしいまちづくり」の根幹をなすものである。平成27年度に実施した中間見直しや計画の進捗状況を踏まえ、市民・事業者との協働体制の更なる確立を図るとともに、継続的な施策の実施が必要である。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	島野 寛喜
(※)第2期実施計画の事業名	低炭素社会推進事業	財務会計上の事業名	低炭素社会推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3041 2	財務会計上の短縮番号	3569
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目1地球環境施策の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	温室効果ガスの排出を抑制し、低炭素型の社会形成を促す。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法 (どのように)	環境にやさしい設備等への補助金交付や環境学習・イベントの実施等、低炭素社会の実現に向けた啓発活動を実施する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	地球温暖化対策の推進に関する法律第4条、環境教育等促進法第6条、住宅用太陽光発電システム設置などの各補助金交付要綱

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)	29 年度 (決算)	30 年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29
事業費(千円)		24,802	20,488	11,176	16,615	54.5%
主な 内訳	委託料	4,989	9,740	0	0	0.0%
	太陽光発電設備導入補助金	9,024	3,969	5,261	9,000	132.6%
	燃料電池システム設置費補助金	9,700	5,850	4,850	6,000	82.9%
人件費(人・千円)		0.26 1,924	0.31 2,356	0.50 3,900	0.50 3,900	161.3%
内 訳	正職員	0.26 1,924	0.31 2,356	0.50 3,900	0.50 3,900	161.3%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時の任用職員		0	0	0	0	-
支出合計 A		26,726	22,844	15,076	20,515	66.0%
財 源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他(環境基金)	24,802	20,488	11,176	16,615	54.5%
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		1,924	2,356	3,900	3,900	165.5%
一般財源比率 C÷A		7.2%	10.3%	25.9%	19.0%	250.8%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	イベント実施、補助金申請受付、エネルギー使用量調査
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	イベント実施、補助申請の受付、エネルギー使用量調査
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	イベント実施や補助申請の受付、エネルギー使用量調査などについてはアウトソーシングが可能であるが、費用対効果の十分な検討が必要であると考えられる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施 計画 目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	住宅用太陽光発電システム 設置費補助制度	件	83	46	59	95	80	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	非住宅用太陽光発電システム 設置費補助制度	件	2	1	1	5	5	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	燃料電池システム設置費補助件数	件	97	117	97	120	120	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				太陽光発電及び燃料電池システム等の環境にやさしい設備の設置件数は増加していると考えられるため。					
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			低炭素社会の推進に資する技術は日々進歩しており、より効率的な目的達成に向けた手段については多様化していると考えられるため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における 事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組 (平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	太陽光発電及び燃料電池補助制度の手続きを一部簡略化することで、申請者の利便性向上を図る。	
現在抱える課題 と その対策	課 題	低炭素社会の実現に資する様々な技術に関する情報収集とその有効性や効率性の検証が難しいこと
	対 策	国や他の自治体の取り組み等について情報収集に努め、その内容と本市の取り組みと照らし合わせることで、有効性や効率性について検討する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	現在の取り組みを着実に実施すること、社会情勢を踏まえた施策導入に関する検討を絶えず行うことで、低炭素社会の実現に向けた取り組みを着実に進めていく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	島野 寛喜
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	環境学習推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	3538
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目1地球環境施策の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	「池田市環境学習基本方針」に掲げる目標像(身近な自然や社会への理解を持ち、多様な視点から考え、行動できる人・地域づくり)を達成すること。
事業の対象 (誰を、何を)	市内小・中学生、教員、保護者等
事業の手段・方法 (どのように)	・学校、教員向けの環境学習事例冊子の作成及び配布 ・池田市環境学習研究会や環境学習啓発イベント等の実施
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 28 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	環境教育等促進法第6条

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29	
事業費(千円)	3,500	5,999	5,999	6,000	100.0%	
主な内訳	3,500	5,999	5,999	6,000	100.0%	
人件費(人・千円)	0.37 2,738	0.29 2,204	0.48 3,744	0.48 3,744	165.5%	
内訳	正職員	0.37 2,738	0.29 2,204	0.48 3,744	0.48 3,744	165.5%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	6,238	8,203	9,743	9,744	118.8%	
財源	国・府支出金				-	
	地方債				-	
	その他(環境基金)		5,999	5,999	6,000	100.0%
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	6,238	2,204	3,744	3,744	169.9%	
一般財源比率 C÷A	100.0%	26.9%	38.4%	38.4%	143.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	本事業については既に外部団体に委託し、効率化を図っている。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	目標値 (H30)	元年度 (予定)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	提案メニュー数	件	24	32	38	—	38
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	環境学習実施件数	件	91	97	114	—	115
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	環境学習事例の収集・整理・分析により、順調にノウハウが蓄積されており、教員等へのサポート体制の充実が図られているため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	環境学習の普及に向けた情報収集や調査、環境学習啓発イベント等による環境学習支援は順調に進んでおり、環境学習基本方針に掲げる目標数値の達成に近づいている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	池田市環境学習基本方針に基づき、引き続き行政・事業者・地域団体・市民とのネットワークで地域資源を活用した環境学習プログラム開発や実践を支援していく。	
現在抱える課題と対策	課 題	環境学習支援に向けた情報収集・調査・分析により、ノウハウの蓄積は一定進んだが、そのノウハウを学校や地域など実際の活動に十分に生かしてもらうことが難しいこと。
	対 策	各主体のニーズを踏まえた支援ができるよう、教育委員会や地域団体等との情報交換や連絡調整を密に行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	本事業は、池田市新環境基本計画の達成に向けて基礎的な部分を担う事業であるが、すぐ効果の見えるものではないため、継続的な施策の実施が必要である。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	島野 寛喜
(※)第2期実施計画の事業名	ごみ減量化推進事業	財務会計上の事業名	ごみ減量化推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042 1	財務会計上の短縮番号	3570
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目2循環型社会の形成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	ごみの減量化と資源化を推進する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、市民団体
事業の手段・方法 (どのように)	集団回収団体や回収事業者に対する補助、ごみの減量化と資源化の啓発の推進
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 55 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市集団回収奨励金交付要綱

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		4,702		4,056		3,901		5,009		96.2%
主な内訳	消耗品費	71		79		72		79		91.1%
	処分委託料	14		17		0		120		0.0%
	補助金	4,617		3,960		3,828		4,810		96.7%
人件費(人・千円)		0.28	1,217	0.48	1,878	0.33	1,659	0.33	1,659	68.8%
内訳	正職員	0.13	962	0.18	1,368	0.18	1,404	0.18	1,404	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.15	255	0.30	510	0.15	255	0.15	255	50.0%
支出合計 A		5,919		5,934		5,560		6,668		93.7%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()	4,702		4,056						0.0%
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	1,217		1,878		5,560		6,668		296.1%	
一般財源比率 C÷A		20.6%		31.6%		100.0%		100.0%		316.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	クリーンセンターにおいて処理が困難な不法投棄物などを委託により処分。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	本事業については、主に市民及び市民団体による自主的な活動への補助や啓発を目的としているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	集団回収量	トン	1,511	1,430	1,380	1,800	1,400
	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	リサイクル率	%	11.3	11.5	11.4	12.5	11.4
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	集団回収実施団体	団体	108	110	111	110	110
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				集団回収量は減少しているものの、団体数は横ばいとなっており、制度の趣旨に基づき各団体で回収量の確保に向け活動しているため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			集団回収量は減少しているものの、リサイクル率上昇の有効な手段の一つとなっており、現制度の継続がごみ減量化の推進に効率的であると判断できるため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	集団回収実施業者への助成金について、1円/kgから0.5円/kgに減額。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	集団回収の促進に向け、啓発を行っていく。	
現在抱える課題と対策	課 題	集団回収量の減少。
	対 策	ごみ減量・資源化のPRを促進し、集団回収団体数及び回収量の確保を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	集団回収量は本市におけるリサイクル量の約半数を占めており、リサイクル率の向上に大きく寄与している。今後も継続的に集団回収の促進を呼びかけていく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	島野 寛喜
(※)第2期実施計画の事業名	指定袋制実施事業	財務会計上の事業名	指定袋制実施事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042 2	財務会計上の短縮番号	3695
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目2循環型社会の形成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	ごみの減量・資源化を推進し、環境負荷の少ない循環型社会づくりを進める。
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	燃えるごみ、燃えないごみは指定袋で、粗大ごみは処理券で排出することとし、有料で販売。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 18 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 第7条の2

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		65,459		68,322		89,571		85,331		131.1%
主な 内訳	消耗品費	39,171		40,964		61,888		54,752		151.1%
	配布管理委託料	12,831		13,240		13,363		14,715		100.9%
	指定袋取扱委託料	12,319		12,863		13,224		13,784		102.8%
人件費(人・千円)		1.28	5,482	1.98	6,788	1.28	5,714	1.28	5,714	64.6%
内 訳	正職員	0.58	4,292	0.58	4,408	0.58	4,524	0.58	4,524	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.70	1,190	1.40	2,380	0.70	1,190	0.70	1,190	50.0%
支出合計 A		70,941		75,110		95,285		91,045		126.9%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()	65,459		68,322		89,571		85,331		131.1%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	5,482		6,788		5,714		5,714		84.2%
一般財源比率 C÷A		7.7%		9.0%		6.0%		6.3%		66.4%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	製造、配布管理、販売を委託している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	収納業務
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	指定販売店からの指定袋等販売手数料の収納事務。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画 目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	☆	活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	池田市内のごみ排出量	トン	31,998	31,914	30,892	29,800	29,800
		活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				市内のごみ排出量が減少傾向にあるため。					
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (目標値や事業費の推移についても言及して記入)			平成18年度の制度開始以降大幅にごみ排出量が減少し、平成24年度の制度改定以降も減少傾向にあるため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	一定の成果を得られており、令和元年度も同内容を継続して実施する。	
現在抱える課題と対策	課 題	指定袋等を使用しない不適正排出
	対 策	ごみ収集日程表や市広報誌、ホームページなどで正しいごみ分別の啓発を行っていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成18年度の指定袋制実施、平成24年度の全量有料化により、ごみ排出量の削減効果が見られるが、更なるごみの減量及びリサイクル率の向上を目指すため、分別項目の増加等を検討していく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	島野 寛喜
(※)第2期実施計画の事業名	リサイクル推進事業	財務会計上の事業名	リサイクル推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042 4	財務会計上の短縮番号	3585
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目2循環型社会の形成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	不法投棄された特定家電4品目の適正処理 市民に適正排出を促し、リサイクルの推進を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	不法投棄された特定家電4品目の処理の委託 容器包装リサイクル対象品目の再商品化の委託
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	家電リサイクル法、容器包装リサイクル法

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)	29 年度 (決算)	30 年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29
事業費(千円)		5,318	7,262	7,914	10,272	109.0%
主な内訳	消耗品費	0	349	149	120	42.7%
	手数料	50	20	34	200	170.0%
	処分委託料	5,268	6,893	7,732	9,932	112.2%
人件費(人・千円)		0.08 592	0.17 1,292	0.17 1,326	0.17 1,326	100.0%
内訳	正職員	0.08 592	0.17 1,292	0.17 1,326	0.17 1,326	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時任用職員		0	0	0	0	-
支出合計 A		5,910	8,554	9,240	11,598	108.0%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他()	5,318	7,262	7,914	10,272	109.0%
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		592	1,292	1,326	1,326	102.6%
一般財源比率 C÷A		10.0%	15.1%	14.4%	11.4%	95.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	トレイ類の異物除去業務の委託については、作業の効率化及び保管場所負担の低減に効果が見られる。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	不法投棄防止の啓発や委託業者との契約が主な業務であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (実績)	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				指 標 値	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特定家電4品目の不法投棄台数	台	12	15
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	資源化率	%	11.3	11.5	11.4	12.5	12.5	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		資源化率が上昇しているため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	平成29年度より小型家電類及び水銀含有廃棄物の拠点回収も開始しており、今後更なる資源化率の向上が見込まれるため。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	小型家電類及び水銀含有廃棄物(乾電池、蛍光灯など)の拠点回収を実施。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	一定の成果を得られており、令和元年度も同内容を継続して実施する。	
現在抱える課題と対策	課 題	資源化率の更なる向上
	対 策	適正排出と再資源化の啓発を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	家電リサイクル法及び容器包装リサイクル法の施行から長期間経過し、市民の間にもリサイクルの意識は定着している。 今後もリサイクル率の向上のため、分別の徹底の啓発をはじめ各種リサイクル施策を実施していく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	島野 寛喜
(※)第2期実施計画の事業名	レジ袋削減等推進事業	財務会計上の事業名	レジ袋削減等推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042 5	財務会計上の短縮番号	3579
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目2循環型社会の形成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	レジ袋の排出抑制をはじめとする3Rの推進ならびに、ごみの減量化をめざす。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法 (どのように)	平成18年度に設立した「池田市レジ袋削減等3R推進協議会」において、市民団体、事業者団体との協働によるレジ袋削減事業を展開する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市レジ袋削減等3R推進協議会補助金交付要綱

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		100		100		100		100		100.0%
主な内訳	補助金	100		100		100		100		100.0%
										-
人件費(人・千円)		0.07	518	0.07	532	0.07	546	0.07	546	100.0%
内訳	正職員	0.07	518	0.07	532	0.07	546	0.07	546	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		618		632		646		646		102.2%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	618		632		646		646		102.2%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市内事業所等と個別の連携が必要となるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	各種イベントによる啓発活動	回	3	3	3	4	3	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	小学校への出前授業	回	9	9	9	10	10	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				各イベントでPR活動を行うとともに、小学校の出前授業にも参加した。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		協議会には店主や婦人会などが加盟しており、多種多様な意見をくみ取ることができている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成30年度に北摂地域でのレジ袋削減に関する協定が結ばれたため、広域的な活動を実施。	
現在抱える課題と対策	課 題	レジ袋削減に向けて、事業者・市民に対する広域的な働きかけ。
	対 策	北摂地域でのレジ袋削減に関する協定での取り組みを活用。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	レジ袋削減をはじめとするごみの発生抑制を推進していくため、市民団体や事業者、学校、近隣市町と連携し、広域的な普及啓発を継続的に行っていく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	島野 寛喜
(※)第2期実施計画の事業名	まち角図書館補助事業	財務会計上の事業名	まち角図書館補助事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042 6	財務会計上の短縮番号	800
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目2循環型社会の形成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市内10小学校区に無人・無施錠の本棚を設置し、24時間無料で貸し出す。
事業の対象 (誰を、何を)	池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会
事業の手段・方法 (どのように)	蔵書は市民からの寄贈、本の整理などは市民団体のボランティアで実施。 池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会への補助金の交付。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 元 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会補助金交付要綱

2 事業費等

区 分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		150		150		100		100		66.7%
主な内訳	補助金	150		150		100		100		66.7%
										-
人件費(人・千円)		0.08	592	0.08	608	0.08	624	0.08	624	100.0%
内訳	正職員	0.08	592	0.08	608	0.08	624	0.08	624	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		742		758		724		724		95.5%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	742		758		724		724		95.5%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	管理運営は池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会がボランティアで行っているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	古本回収量	冊	8,012	13,339	7,219	8,000	5,000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		広く市民に定着しており、古本回収量も安定している。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	市民の善意により低コストで運営できており、本のリサイクルに大きな役割を果たしている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	毎月の古本回収及び施設の定期的な修繕を行っていく。	
現在抱える課題と対策	課 題	施設の老朽化及び人員の不足。
	対 策	引き続き施設の計画的な修繕に努めるとともに、実行委員会が主体となり、人員補強に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	本市図書館行政の一元化を目的に、本事業は令和元年度内に図書館へ移管するため未定。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 業務センター		担当課長名	宮崎 泰
(※)第2期実施計画の事業名	ごみ収集事業		財務会計上の事業名	ごみ収集事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	8	財務会計上の短縮番号	3665
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	多様化するごみの組成に対応し、収集作業の効率化と市民サービスの向上を図るとともに、収集車両の適正管理に努める。
事業の対象 (誰を、何を)	生活系一般廃棄物
事業の手段・方法 (どのように)	分別収集と指定日収集
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条、第6条

2 事業費等

区 分		28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29				
事業費(千円)		72,001	85,785	97,940	115,725	114.2%				
主な内訳	燃料費	5,101	5,215	5,711	6,212	109.5%				
	修繕料	9,281	7,801	10,045	8,243	128.8%				
	ごみ収集業務委託料	55,877	71,267	80,988	99,656	113.6%				
人件費(人・千円)		52.35	265,980	49.35	249,850	50.55	268,390	45.78	229,789	102.4%
内訳	正職員	29.90	221,260	26.90	204,440	29.55	230,490	23.83	185,874	109.9%
	再任用短時間勤務職員	3.45	12,420	3.45	13,110	1.00	3,900	3.00	11,700	29.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	19.00	32,300	19.00	32,300	20.00	34,000	18.95	32,215	105.3%
支出合計 A		337,981	335,635	366,330	345,514	109.1%				
財源	国・府支出金					-				
	地方債					-				
	その他()	4,279	4,826	4,279	4,452	88.7%				
	うち受益者負担 B	4,279	4,826	4,279	4,452	88.7%				
	一般財源 C	333,702	330,809	362,051	341,062	109.4%				
一般財源比率 C÷A		98.7%	98.6%	98.8%	98.7%	100.3%				
受益者負担率 B÷A		1.3%	1.4%	1.2%	1.3%	81.2%				
受益者負担の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済(平成 18年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		指定ごみ袋制度								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	粗大ごみ・資源ごみ及び一部地域の可燃ごみの収集を業者委託
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	粗大ごみ・資源ごみの収集(他は委託済み)
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	人件費の差額相当分の削減
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ごみ収集量	t	18,818
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				ごみ分別収集の徹底による減量化ならびに収集作業の効率化が図られている。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				24年度から「粗大ごみ・燃えないごみ」及び「紙類ごみ」、26年度から「可燃ごみ(空き缶・空きびん)」の一部地域の収集を委託しているが、さらなる委託可能な部分があるため。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成29年10月より、さらに1区域の可燃ごみ(空き缶・空きびん)の収集業務を委託した。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	令和元年10月より、さらに1区域の可燃ごみ(空き缶・空きびん)の収集業務を委託する。	
現在抱える課題と対策	課 題	最終委託化率の検討。
	対 策	災害時の緊急事務を近隣市町と連携した委託化(概ね5割)とする。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	危機管理体制を確保しながら委託化(概ね5割)を進め、効率的な事業を目指す。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 業務センター		担当課長名	宮崎 泰
(※)第2期実施計画の事業名	し尿収集事業		財務会計上の事業名	し尿収集事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	9	財務会計上の短縮番号	3710
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	し尿収集の効率化を図るとともに、収集車両の適正管理に努める。
事業の対象 (誰を、何を)	下水道未接続の便槽・浄化槽
事業の手段・方法 (どのように)	し尿の定期収集と臨時収集及び浄化槽の清掃と保守点検の実施
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条、第6条

2 事業費等

区 分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		1,045		547		717		1,229		131.1%
主な内訳	燃料費	191		206		260		300		126.2%
	修繕料	649		227		359		600		158.1%
人件費(人・千円)		3.25	16,260	3.25	20,710	2.15	12,870	3.42	22,971	66.2%
内訳	正職員	1.20	8,880	2.20	16,720	1.15	8,970	2.47	19,266	52.3%
	再任用短時間勤務職員	2.05	7,380	1.05	3,990	1.00	3,900	0.95	3,705	95.2%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		17,305		21,257		13,587		24,200		63.9%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B	1,045		547		717		990		131.1%
	一般財源 C	17,305		21,257		13,587		24,200		63.9%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A		6.0%		2.6%		5.3%		4.1%		205.1%
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	昭和45年頃まで許可制により収集していたが、許可区域を全面撤回し、損失補填して全市直営収集を実施した経緯があるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	定時・臨時・公共収集	件	391	345	329	330	330
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	浄化槽清掃	件	36	52	55	55	35
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				し尿収集の効率化、安全作業の推進に努めた。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			昭和45年頃まで許可制により収集していたが、許可区域を全面撤回し、損失補填して全市直営収集を実施した経緯があるため。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	下水道の接続状況を把握しながら事業を実施していく。
現在抱える課題と対策	課 題: なし 対 策: なし
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	下水道普及率は100%となっているものの、未接続や臨時の汲み取りなど継続して事業を実施する必要がある。

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	吉田 昇
(※)第2期実施計画の事業名	ごみ処理事業		財務会計上の事業名	ごみ処理事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	10	財務会計上の短縮番号	3675
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	環境基準等を遵守した上で、廃棄物を適正に処理する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民・市内事業者から排出された廃棄物
事業の手段・方法 (どのように)	再資源化の徹底とともに一般廃棄物の適正な中間処理(焼却処理)を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(明治 33 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)	29 年度 (決算)	30 年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29
事業費(千円)		130,274	122,437	122,050	142,049	99.7%
主な内訳	消耗品費	53,441	46,565	47,790	56,192	102.6%
	燃料費	3,365	2,817	4,569	6,510	162.2%
	光熱水費	60,767	61,723	59,417	63,470	96.3%
人 件 費 (人・千円)		27.50 169,490	26.60 173,350	26.60 171,700	23.60 148,300	100.0%
内 訳	正職員	20.30 150,220	20.40 155,040	19.40 151,320	16.40 127,920	95.1%
	再任用短時間勤務職員	3.70 13,320	3.70 14,060	3.70 14,430	3.70 14,430	100.0%
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
	臨時的任用職員	3.50 5,950	2.50 4,250	3.50 5,950	3.50 5,950	140.0%
支 出 合 計 A		299,764	295,787	293,750	290,349	99.3%
財 源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他()	115,564	111,241	95,474	114,375	85.8%
	うち受益者負担 B	115,564	111,241	95,474	114,375	85.8%
	一般財源 C	184,200	184,546	198,276	175,974	107.4%
一般財源比率 C÷A		61.4%	62.4%	67.5%	60.6%	108.2%
受益者負担率 B÷A		38.6%	37.6%	32.5%	39.4%	86.4%
受益者負担の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済(平成 24 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		指定袋の無料配布の廃止及び手数料の見直し、持ち込みごみ処理手数料の見直し				

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	民間委託により、コスト削減及び事務簡略化を図った。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	焼却施設の運転管理業務等の包括委託または一部委託の導入
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	包括委託または委託による人件費とのコストメリットが期待できる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	廃棄物処理量	t	30,488	30,484	30,892	27,723	27,160
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				廃棄物の適正処理が確実に行われたため。				
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		一般廃棄物処理計画に基づき、排出抑制の徹底及び資源物の再利用化促進により、減少させることが可能。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	焼却施設の運転管理業務等について、令和2年度から休日・夜間における委託の開始について、職員組合との協議を完了し、平成31年度予算において債務負担行為を計上した。	
現在抱える課題と対策	課 題	焼却施設の運転管理業務等のあり方
	対 策	焼却施設の運転管理業務等について、令和2年度から休日・夜間における委託を開始し、費用対効果の向上を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	焼却施設の運転管理業務等について、令和2年度から休日・夜間における委託を開始し、費用対効果の向上を図る。また、排出抑制の徹底等を通じ、廃棄物量そのものの削減に努め、最終処分量の削減に資するものとする。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	吉田 昇
(※)第2期実施計画の事業名	ごみ処理事業(最終処分)		財務会計上の事業名	ごみ処理事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	11	財務会計上の短縮番号	3675
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	再資源化を促進し、循環型社会の形成に寄与するとともに、資源化できないものについては適正処理を行う。
事業の対象(誰を、何を)	市民・市内事業者から排出された廃棄物
事業の手段・方法(どのように)	資源物の選別・処理、粗大ごみ・不燃物の処理及び一般廃棄物の最終処分を、業務委託により実施。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(明治 33 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区 分		28 年度(決算)		29 年度(決算)		30 年度(決算)		元年度(予算)		H30/H29
事業費(千円)		123,677		124,576		133,028		140,000		106.8%
主な内訳	委託料	123,677		124,576		133,028		140,000		106.8%
										-
人件費(人・千円)		0.50	3,700	0.80	5,320	0.80	5,460	0.80	5,460	100.0%
内訳	正職員	0.50	3,700	0.60	4,560	0.60	4,680	0.60	4,680	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0	0.20	760	0.20	780	0.20	780	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		127,377		129,896		138,488		145,460		106.6%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	127,377		129,896		138,488		145,460		106.6%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	民間委託により、コスト削減及び事務簡略化を図った。
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値(H30)	元年度(予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	最終処分量	t	4,579	4,740	4,747	4,108	4,025
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				廃棄物の適正処理が確実に行われたため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)			
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない)	<input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)			
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		最終処分量については、漸減傾向が見られるが、一般廃棄物処理計画に基づき、排出抑制の徹底及び資源物の再利用化促進により、今後も減少させることが可能。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	資源ごみ選別業務及び粗大ごみ・不燃物処理業務委託について、競争入札による業者選定を実施。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	引き続き、廃棄物の適正処理の着実な実施に努める。中・長期的には、マテリアルリサイクル施設の基幹改良工事の検討とあわせ、業務委託のあり方について見直しを行う。	
現在抱える課題と対策	課 題	業務委託のあり方
	対 策	資源化率の向上及び経費の削減等を目的とした包括的な見直しを行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	事業実施の方法について、国の交付金メニューとなったマテリアルリサイクル施設の基幹改良工事の実施検討とともに業務委託のあり方の見直しについて研究する。資源化率の向上と経費削減に努めるとともに、排出抑制の徹底等を通じ、廃棄物量そのものの削減に努め、最終処分量の削減に資するものとする。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	吉田 昇	
(※)第2期実施計画の事業名	クリーンセンター管理運営事業		財務会計上の事業名	クリーンセンター管理事業 クリーンセンター運営事業	
(※)第2期実施計画の 分類番号/事業番号	3042	12,13	財務会計上の短縮番号	3680,3685	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目2循環型社会の形成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	廃棄物の継続的かつ適正な処理
事業の対象 (誰を、何を)	クリーンセンター
事業の手段・方法 (どのように)	施設の保守点検等を適切に行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 58 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		59,183		52,787		33,112		39,095		62.7%
主な 内訳	委託料	53,829		46,711		25,425		33,884		54.4%
	燃料費	403		399		352		500		88.2%
	光熱水費	1,547		1,984		1,776		2,100		89.5%
人件費(人・千円)		3.70	14,650	3.90	16,610	3.90	16,980	3.90	16,980	100.0%
内 訳	正職員	1.10	8,140	1.30	9,880	1.30	10,140	1.30	10,140	100.0%
	再任用短時間勤務職員	1.10	3,960	1.10	4,180	1.10	4,290	1.10	4,290	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	1.50	2,550	1.50	2,550	1.50	2,550	1.50	2,550	100.0%
支出合計 A		73,833		69,397		50,092		56,075		72.2%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()	107		93		102		106		109.7%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	73,726		69,304		49,990		55,969		72.1%
一般財源比率 C÷A		99.9%		99.9%		99.8%		99.8%		99.9%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済(平成 24 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し								
	上記の内容	指定袋の無料配布の廃止及び手数料の見直し、持ち込みごみ処理手数料の見直し								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	民間委託により、コスト削減及び事務簡略化を図りながら、良好に施設の管理運営を行うことができています。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	既に大部分の業務をアウトソーシングしており、直営業務の委託によるコスト削減等は期待できない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施 計画 目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	廃棄物受入れ停止日数	日	0	0	0	0	0
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				廃棄物の受入停止を生じさせることなく、施設の安定稼働を達成したため。				
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		設備保守点検に係る各種業務を着実に実施することで、環境基準等を遵守した上で、廃棄物の適正処理が継続的に行われているため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における 事業内容の見直し(直近)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		定期点検整備業務委託について、平成26年度から2か年、入札による業者選定を実施し、透明性・競争性の担保を図った。
令和元年度の取組 (平成30年度比)		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容		職員の意識向上及びスキルアップを図りながら、効率性と質を両立した管理運営に努める。
現在抱える課題 と その対策	課 題	効率的な施設の管理運営の実施
	対 策	職員の意識向上及びスキルアップを図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由		令和2年度から焼却施設の休日・夜間の委託が開始される。平日日勤帯に業務が集約されるが、これまでに培った技能をさらに高めるとともに、ノウハウの継承にも努める。

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	吉田 昇	
(※)第2期実施計画の事業名	クリーンセンター修繕事業		財務会計上の事業名	クリーンセンター修繕事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	14	財務会計上の短縮番号	3690	
総合計画の体系	章	第3章人.環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目2循環型社会の形成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	クリーンセンターの安定稼働を確保し、廃棄物処理を円滑に進める。
事業の対象 (誰を、何を)	クリーンセンター
事業の手段・方法 (どのように)	施設の予防保全等適切な維持管理を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 58 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		95,842		69,448		15,556		50,000		22.4%
主な内訳	修繕料	95,842		69,448		15,556		50,000		22.4%
										-
人件費(人・千円)		1.10	6,240	1.30	7,980	1.30	8,190	1.30	8,190	100.0%
内訳	正職員	0.60	4,440	0.80	6,080	0.80	6,240	0.80	6,240	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.50	1,800	0.50	1,900	0.50	1,950	0.50	1,950	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		102,082		77,428		23,746		58,190		30.7%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	102,082		77,428		23,746		58,190		30.7%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	包括管理契約により導入することが可能。
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	運転管理とあわせて委託を行うことで事務を合理化することは可能。人件費の面でのコスト削減も期待できる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	廃棄物受入れ停止日数	日	0	0	0	0	0	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				廃棄物受入の停止を生じさせることなく、施設の安定稼働を達成したため。					
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			基幹的設備改良工事の実施と相まって、経費効果と安定稼働の両立ができるよう、予防保全と計画的な修繕を実施することが必要。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度～ <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	基幹的設備改良工事を踏まえ、不要不急の修繕は行わず、改良工事に入るまでの間の延命化に努めることとし、予算規模を縮小するもの。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	基幹的設備改良工事を踏まえ、不要不急の修繕は行わず、改良工事に入るまでの間の延命化に努めることとし、予算規模を縮小するもの。	
現在抱える課題と対策	課 題	基幹的設備改良工事後の予防保全と計画的な修繕の実施
	対 策	経費効果と安定稼働の両立ができるよう、予防保全と計画的な修繕工事の実施に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成29年度から31年度までの基幹的設備改良工事の期間中は、現行炉の修繕に限るため、不要不急の修繕は行わず、改良工事に入るまでの間の延命化に努めることとする。基幹的設備改良工事の完了後は、経費効果と安定稼働の両立ができるよう、予防保全と計画的な修繕を実施することとする。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	吉田 昇
(※)第2期実施計画の事業名	クリーンセンター基幹改良事業		財務会計上の事業名	クリーンセンター基幹改良事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	15	財務会計上の短縮番号	3731
総合計画の体系	章	第3章人・環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	クリーンセンターの安定稼働を確保し、廃棄物処理を円滑に進める。
事業の対象 (誰を、何を)	クリーンセンター
事業の手段・方法 (どのように)	二酸化炭素排出抑制事業費交付金を活用し、基幹的設備改良工事を実施し、施設の長寿命化を図る。
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 時限(平成 28 年度～平成 31 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		53,697		1,588,350		1,471,546		1,682,381		92.6%
主な内訳	委託料	432		11,304		10,476		13,536		92.7%
	工事請負費	53,265		1,577,046		1,461,070		1,668,845		92.6%
人件費(人・千円)		1.40	8,460	1.80	11,780	1.80	12,090	1.80	12,090	100.0%
内訳	正職員	0.90	6,660	1.30	9,880	1.30	10,140	1.30	10,140	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.50	1,800	0.50	1,900	0.50	1,950	0.50	1,950	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		62,157		1,600,130		1,483,636		1,694,471		92.7%
財源	国・府支出金	21,412		698,183		632,408		670,875		90.6%
	地方債	27,300		772,200		724,100		859,100		93.8%
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	13,445		129,747		127,128		164,496		98.0%
一般財源比率 C÷A		21.6%		8.1%		8.6%		9.7%		105.7%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	廃棄物中間処理施設の基幹改良工事については、高度な専門性、技術力が求められ、民間活力により実施するのが適当。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (実績)	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	基幹的設備改良事業の実施		実施	実施
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				基幹的設備改良事業の完了(令和元年度末)に向け、事業者の選定及び実施設計を行い、工事を実施。予定どおり進捗しているため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				LCC(ライフサイクルコスト)の面での有利さや新施設整備時における予定地の確保及び住民合意の形成の困難さから、平成46年度までの延命化を図ることとしたところ。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	基幹的設備改良事業について、1戸の改修工事を完了させ、事業を完了させる。	
現在抱える課題と対策	課 題	基幹的設備改良事業の効果的な実施
	対 策	本工事に要する費用の適正化を図るとともに、着実な進捗に向けた管理を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	令和元年度末を以って、事業が完了するため。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	島野 寛喜
(※)第2期実施計画の事業名	環境監視対策事業	財務会計上の事業名	環境監視対策事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3043 1	財務会計上の短縮番号	3560
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目3地域環境の向上	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	公害発生の抑制と環境基準の達成
事業の対象 (誰を、何を)	工場、事業所
事業の手段・方法 (どのように)	水質、騒音等の測定を定期的実施するとともに、工場・事業所に対して立入り調査をし、規制基準の遵守の確認・指導を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	騒音規制法、振動規制法、及び池田市環境保全条例等

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29	
事業費(千円)	2,802	2,647	2,458	3,976	92.9%	
主な内訳	調査委託料	2,441	2,311	2,171	3,700	93.9%
	自動車借上料	133	65	90	0	138.5%
	燃料費	43	35	42	55	120.0%
人件費(人・千円)	0.47 3,478	0.27 2,052	0.22 1,716	0.28 2,184	81.5%	
内訳	正職員	0.47 3,478	0.27 2,052	0.22 1,716	0.28 2,184	81.5%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	6,280	4,699	4,174	6,160	88.8%	
財源	国・府支出金	515	776	692	600	89.2%
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	5,765	3,923	3,482	5,560	88.8%	
一般財源比率 C÷A	91.8%	83.5%	83.4%	90.3%	99.9%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	水質、騒音等の測定を業者に委託し、定期的実施している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	法律及び条例に基づいた指導であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	目標値 (H30)	元年度 (予定)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水質、騒音等の測定		50	50	50	50	50
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	工場・事業所への立入り調査		0	0	0	0	0
	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市民からの公害苦情の解決		44	51	47	60	60
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水道法関係の測定		6	4	4	4	4
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		根拠法令に基づき適正に対処したため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	環境監視のため、水質と騒音の測定は不可欠である。公害苦情に関しては、関係法令に基づき処理し、苦情者の了承を得られている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	これまでの取り組みが有効、効率的であると判断し、同内容で継続実施する。	
現在抱える課題とその対策	課題	昨年に引き続き、公害発生の抑制と環境基準の達成
	対策	公害や環境基準については、測定や立入り調査により環境監視に努める。苦情処理については、迅速に対応し解決に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	測定や立入り調査により環境監視に努めるとともに、公害苦情にも適切に対処していく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	島野 寛喜
(※)第2期実施計画の事業名	阪神高速道路大気観測維持管理事業	財務会計上の事業名	阪神高速道路大気観測維持管理事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3043 2	財務会計上の短縮番号	3555
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目3地域環境の向上	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市内の大気汚染の状況を把握する。
事業の対象 (誰を、何を)	阪神高速道路大気観測局(神田局)
事業の手段・方法 (どのように)	阪神高速道路大気観測局(神田局)において、大気汚染物質の常時観測を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 12 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29	
事業費(千円)	3,733	3,726	3,698	4,608	99.2%	
主な内訳	管理委託料	3,456	3,456	3,456	3,842	100.0%
	光熱水費	212	204	207	228	101.5%
	消耗品費	65	66	36	38	54.5%
人件費(人・千円)	0.13 962	0.13 988	0.10 780	0.15 1,170	76.9%	
内訳	正職員	0.13 962	0.13 988	0.10 780	0.15 1,170	76.9%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
	臨時的任用職員	0	0	0	0	-
支出合計 A	4,695	4,714	4,478	5,778	95.0%	
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他()	3,733	3,726	3,698	4,608	99.2%
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	962	988	780	1,170	78.9%	
一般財源比率 C÷A	20.5%	21.0%	17.4%	20.2%	83.1%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	大気観測局の維持管理や臨時点検を業者に委託している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指標値	☆	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	神田局大気観測 測定項目	項目	3	3	3	3	
	☆	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	木部・新宅局大気観測 測定項目	項目	-	-	-	-	
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	環境基準の達成状況	項目	3	3	3	3	
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				定点観測によりPM2.5など、市内の大気汚染の状況を把握できているため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			市民の関心の高いPM2.5を中心とした1時間ごとの測定値を市ホームページなどで即時(リアルタイム)公開できている。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成28年2月末に木部・新宅局を閉鎖。神田局のみの測定を継続。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	市内の大気汚染の状況を把握できている。	
現在抱える課題と対策	課題	施設・計測機器の維持管理
	対策	効率的な維持管理に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	引き続き、神田局の測定値により、PM2.5をはじめとする大気汚染の状況を市民へ提供していく。併せて、大気観測の継続の必要性について検討する。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	島野 寛喜
(※)第2期実施計画の事業名	環境美化推進事業	財務会計上の事業名	環境美化推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3043 3	財務会計上の短縮番号	3565
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目3地域環境の向上	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	環境美化に対する市民意識の向上を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、市民団体
事業の手段・方法 (どのように)	ごみゼロデーや清掃デーなどの地域清掃の実施を広報誌などを通して呼びかけ、多くの市民、市民団体の参加を促す。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 55 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市美しいまち推進条例

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29	
事業費(千円)	19	20	21	1,095	105.0%	
主な内訳	消耗品費	0	0	0	-	
	通信運搬費	19	19	21	110.5%	
	補助金	0	0	0	-	
人件費(人・千円)	0.22 1,058	0.32 1,252	0.22 1,106	0.22 1,106	68.8%	
内訳	正職員	0.12 888	0.12 912	0.12 936	0.12 936	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
	臨時的任用職員	0.10 170	0.20 340	0.10 170	0.10 170	50.0%
支出合計 A	1,077	1,272	1,127	2,201	88.6%	
財源	国・府支出金				-	
	地方債				-	
	その他()				-	
	うち受益者負担 B				-	
	一般財源 C	1,077	1,272	1,127	2,201	88.6%
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	本事業については、主に市民及び市民団体による自主的な活動への参加促進を目的としているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
指 標 値	☆	活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	清掃デー参加人数	人	5,092	4,726	4,306	6,000	6,000
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ごみ散乱防止ケージ補助金交付件数	件	-	-	-	-	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		清掃デーの参加人数については、天候や実施時期により増減はあるものの、一定数の市民が参加して活動しているため。							
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (目標値や事業費の推移についても言及して記入)	地域清掃については、市民、市民団体が積極的に参加されており、環境美化意識の向上に効果的である。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成25年に開始したごみ散乱防止ケージへの補助事業を廃止。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	環境美化に対する市民意識の向上を図るため、継続的に啓発等を実施する。	
現在抱える課題と対策	課 題	市で処理できない多種多様なごみも排出されることがあり、回収に苦慮する場合がある。
	対 策	関係部署と連絡・調整を行い、すべてを回収できるよう努めている。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	ごみゼロデーや清掃デーなどの地域清掃の実施を主体とした環境美化活動を、自治会等の各種団体との連携により継続して行う。	